

本リリースは株式会社愛媛 CATV と株式会社インテックより配信しております。
重複して受信される場合がございますが、予めご了承ください。



2022年5月10日
株式会社愛媛 CATV
株式会社インテック

**愛媛 CATV、愛媛県災害情報 5G 活用検討会にて
インテックと被災現場の高精細映像活用の実証試験を実施
～ローカル 5G とデータ連携基盤を活用し、正確な状況把握を実現～**

株式会社愛媛 CATV（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：宮内隆、以下愛媛 CATV）は、TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：北岡隆之、以下インテック）と、災害時に被災現場の高精細映像をリアルタイムで伝送する実証試験を実施したことを発表します。

愛媛 CATV は、愛媛県が、防災・減災対策への 5G や先進デジタル技術の活用方法を検討するために設置した「令和 3 年度愛媛県災害情報 5G 活用検討会」の運営等業務を受託し、以下の任務の一環として本実証試験を実施しました。

＜検討会の任務＞

- (1) 5G や先進デジタル技術を活用した防災・減災対策の効果的・効率的な推進
- (2) 災害時の活用を想定した実証試験に係る検討及び結果の検証
- (3) 次期災害情報システム・防災通信システム更新の際における先進デジタル技術の活用

本実証試験では、中山間地域や沿岸地域を災害発生地と想定し、その地域の高精細映像を愛媛 CATV のローカル 5G※1 と地域閉域網、インテックのワイヤレス IoT デバイス※2 と都市 OS (FIWARE) を活用して愛媛県庁まで伝送し、その映像を確認しました。愛媛 CATV とインテックは、映像の 4K と HD との比較や、ドローン・船舶などの撮影位置を映像と合わせてリアルタイムに把握できる ICT 環境構築の支援を行いました。

※1 ローカル 5G：企業や自治体等が 5G によるプライベートネットワークを構築して利用できる通信環境。無線通信回線として利用可能で、運用するには無線局免許の取得が必要。

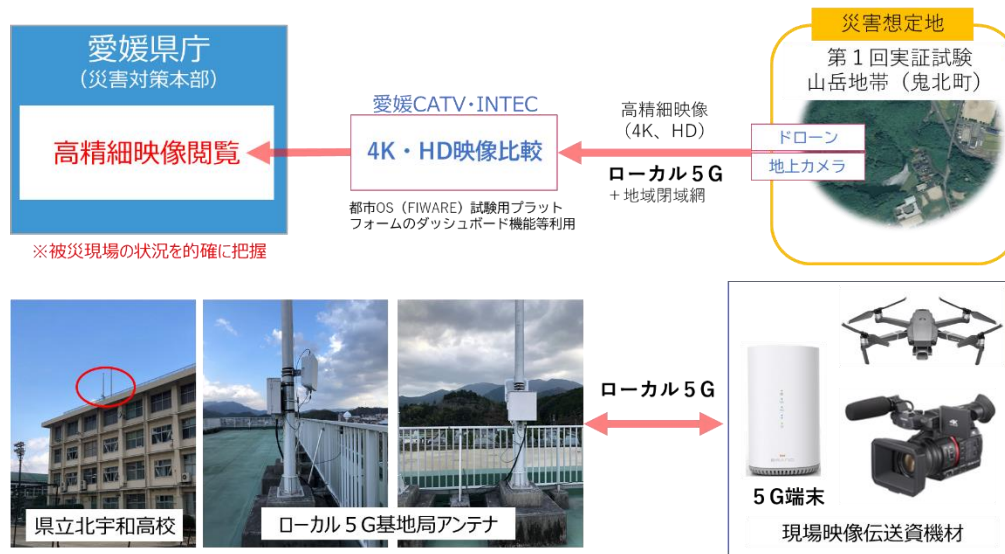
※2 ワイヤレス IoT デバイス：水位センサーや赤外線センサーなどのセンサーデバイスの総称。クラウド上の都市 OS にセンサーデバイスで取得したデータを収集するために無線ネットワークを活用。本試験では撮影位置を特定するために GPS を活用。

■実証試験の概要

	第 1 回（中山間地域）	第 2 回（沿岸地域）
時期	2021 年 12 月 22 日	2022 年 2 月 9 日
場所	愛媛県鬼北町	愛媛県上島町
内容	<ul style="list-style-type: none">・県立北宇和高校屋上にローカル 5G 基地局設置・隣接する山林の様々な地点で、地上カメラやドローンで撮影した高精細映像をローカル 5G 端末から基地局へ 5G 電波で伝送・県庁側モニターで、高精細映像（4K）を HD と比較確認	<ul style="list-style-type: none">・上島町役場屋上にローカル 5G 基地局を設置・周辺海上の様々な地点で、船上カメラやドローン（空中、水中）で撮影した高精細映像をローカル 5G 端末から基地局へ 5G 電波で伝送・県庁側モニターで、高精細映像（4K）を HD と比較、撮影位置情報を確認

■実証試験のイメージ図（第1回実証試験）

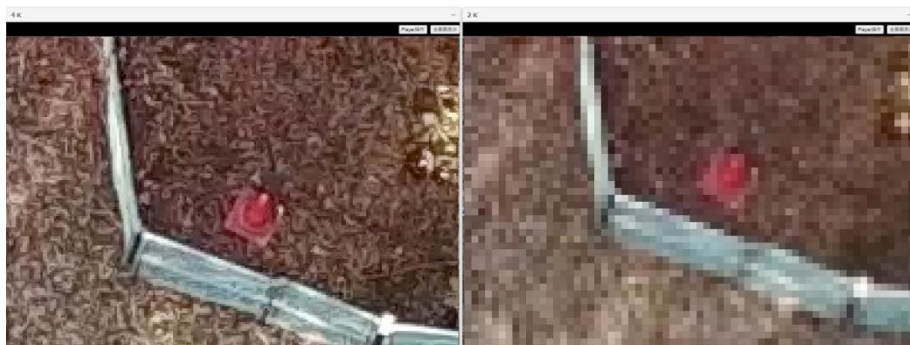
実施イメージ



映像比較（高精細映像（4K）とHD）

<4K 映像>

<HD 映像>



■実証試験結果

5Gの電波伝搬特性の異なる環境（中山間地域、沿岸地域）において、いずれも5Gが4K高精細映像の伝送に有効に活用できることが確認され、概ね、良好な結果が得られました。

また、実運用に向けて、県が要請してから高精細映像を閲覧できるまでの所要時間、基地局からのカバーエリアや4K映像を効果的に活用できる撮影方法などが確認できました。また、ワイヤレスIoTデバイス等と都市OS (FIWARE)のダッシュボード機能との組合せにより、海上のように撮影場所の把握が困難な現場においても、撮影場所を迅速・的確に把握できることが確認できました。

■今後の課題と展開

愛媛県においては、今回の検討会での検討結果を踏まえ、次期防災システムの検討や防災・減災対策を更に強化していく予定です。

愛媛CATVとインテックは、実証試験で得たデータや知見を踏まえ、既存サービスの更なるブラッシュアップに努めるとともに、引き続きそれぞれの強みを活かしながら連携し、防災分野に限らず、ローカル5Gや地域閉域網を活用した地域データ連携基盤※3の活用を通して、地域貢献や社会課題解決に向けスピード感を持って取り組んで参ります。

※3 データ連携基盤：社会・公共分野で業種を超えてデータの共有・活用を実現するデータ共有基盤の「FIWARE」を利用して、各自治体が抱えるさまざまな課題を解決するためにセンサー情報を収集・分析・可視化するインテックが開発した自治体向けIoTプラットフォームを利用。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社愛媛CATVについて (<https://www.e-catv.ne.jp/>)

株式会社愛媛CATVは、松山市と近隣市町ならびに愛南町をサービスエリアとして、自主制作の地域情報番組や多チャンネル放送、高速インターネット、地域BWA、固定電話サービス等のほか、MVNO サービスを提供しています。

株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客様の経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客様に新しい価値を提供してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 広報室 小川、長谷、稲垣
E-Mail : press@intec.co.jp

株式会社愛媛CATV 専務取締役 白石成人

E-Mail : shiraishi@e-catv.ne.jp

TEL : 090-8979-1344

◆本取組に関するお問い合わせ先

株式会社インテック テクノロジー&マーケティング本部 新事業開発部 担当：福原、安吉
E-Mail : wdx_info@intec.co.jp

株式会社愛媛CATV 専務取締役 白石成人

E-Mail : shiraishi@e-catv.ne.jp

TEL : 090-8979-1344